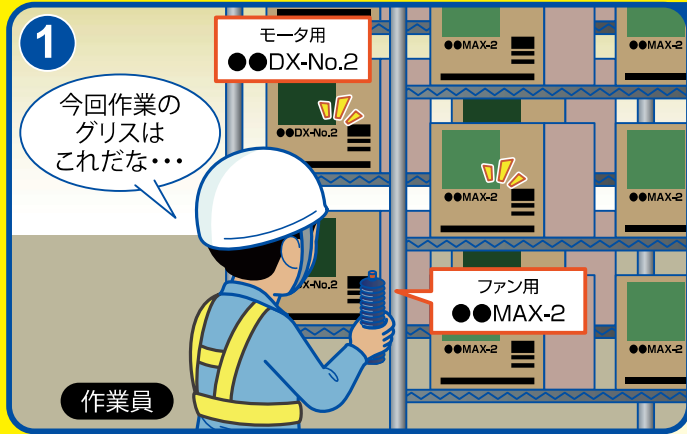


# 不確かな場合の中断 (STAR\*のTで不確かであれば止める)

\*セルフチェックのツール：Stop - Think - Act - Review  
(止まる) (考える) (行動する) (検証する)



## ヒューマンパフォーマンスツール ⑥

### 何のため?

混乱や不確実さに直面するとき、人はエラーの可能性が高くなるため、不確かな場合は常に立ち止まって、質問することが最良の行動である

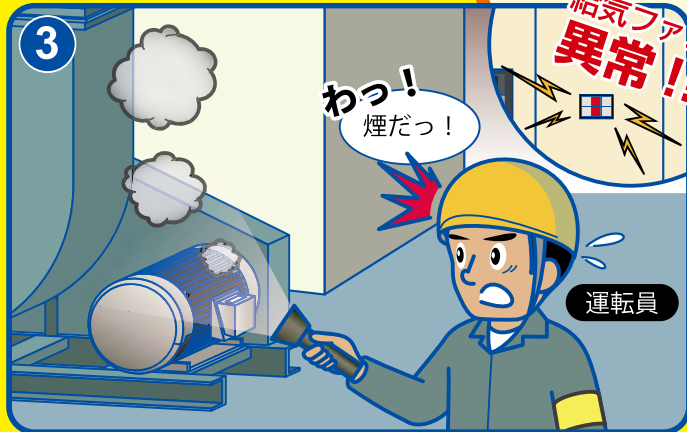
### いつ使う?

セルフチェック(STAR)のT(考える)場面において

- ・不確実さ、疑問、混乱、問題点がめぐえないとき
- ・手順書と一致しない条件のとき
- ・計画、プロセスの範囲外となったとき
- ・予期せぬ結果、精通していない状況のとき
- ・経験がない、知識が不十分など、3Hのとき

### どう使う?

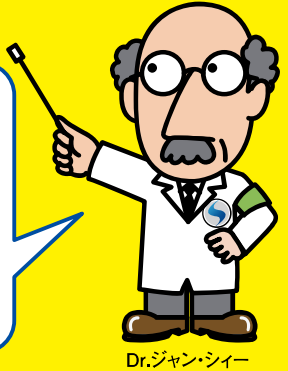
- ① 活動を止める(中断または一時停止)
- ② 機器や現場を安全な状態に移行する
- ③ 直属の監督者に報告する
- ④ より知識のある人に助けを求める(確認する)
  - ・矛盾のある証拠や考えを却下しない
  - ・悪いことは何も起こらないという信念は捨てる



セルフチェック(STAR)を励行し、T(考える)場面で「疑問があれば止めて」「報告・確認」「問題を解消」違和感を放置せずトラブルを未然に防止しましょう!



まずは作業計画時にマニュアルや表示等を適正化し、最初のエラーを予防することが先決。それでも現場で疑問を感じたら、その場で止めて、ためらわずに助けを求めること。そのためには、日頃からのチームワークも重要じゃ!



Dr.ジャン・シー

ヒューマンパフォーマンスツールは、起こりうるエラーを予測し、感知することで、エラーや事故を防止しやすくするためのものです。このポスターは、事例を参考に安全啓発資料として編集・作成しました。